

CASBEE[®]広島

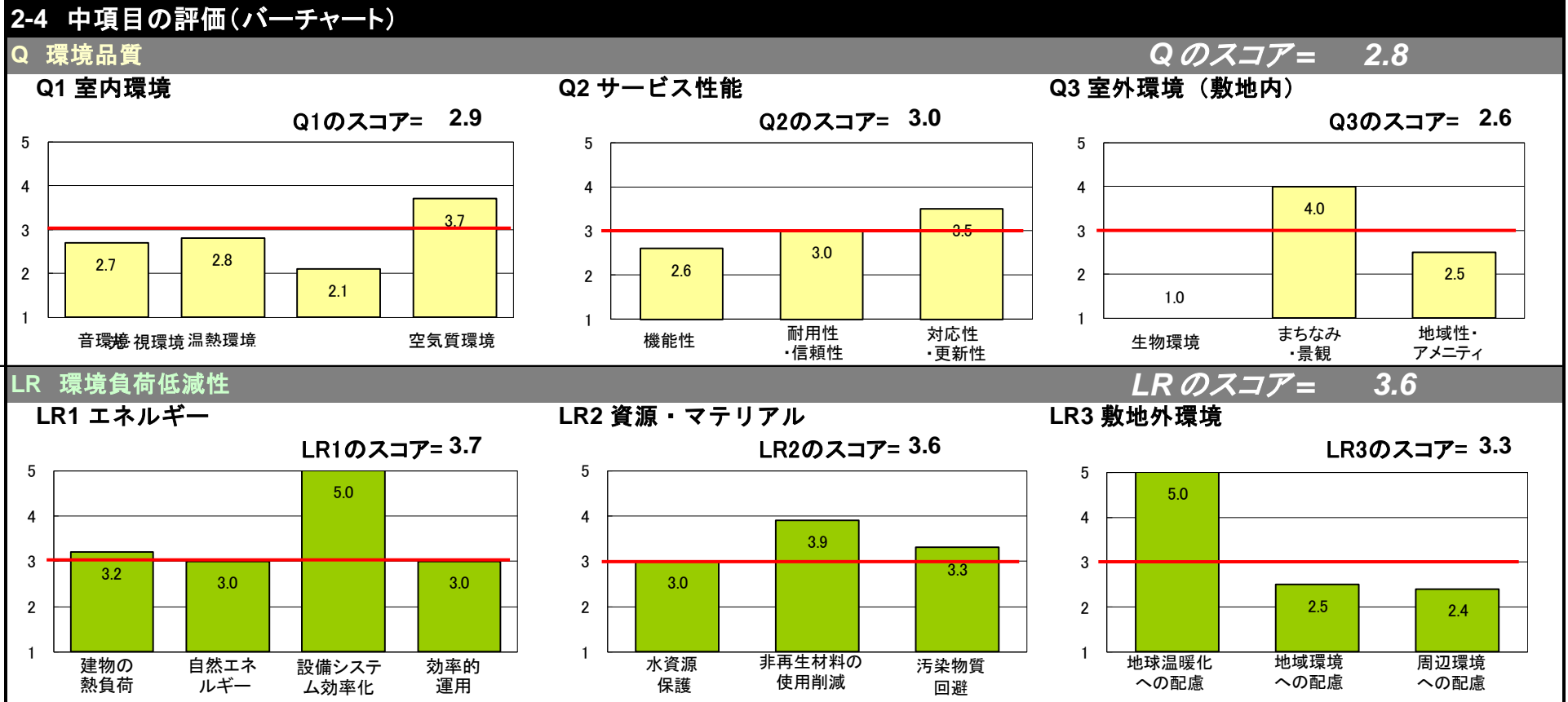
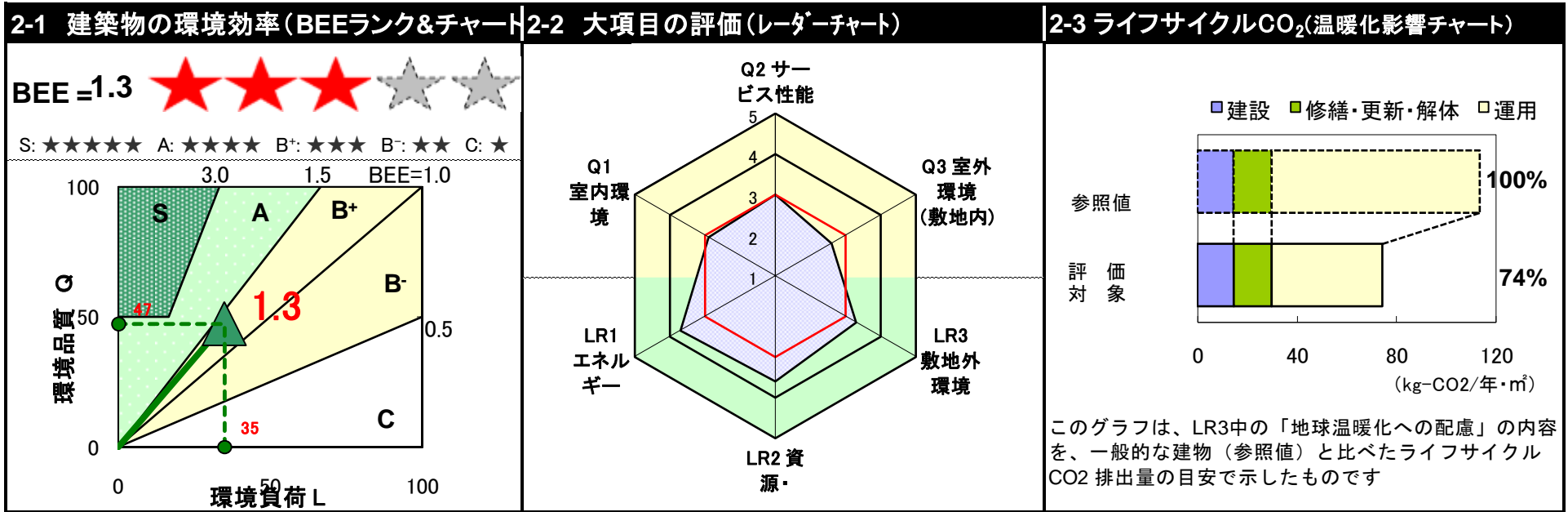
(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)広島BPTフィットネス棟	階数	地上5F
建設地	広島市南区南蟹屋2-2	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	461人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	3,965時間/年
建物用途	物販店、集会所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年8月 予定	評価の実施日	2011年10月21日
敷地面積	4,300 m ²	作成者	土井原 毅
建築面積	2,620 m ²	確認日	2011年10月21日
延床面積	10,672 m ²	確認者	土井原 毅



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア= 3.4

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア= 3.9	スコア= 1.5	スコア= 3.2
設計の計画上特段に配慮した事項 開口部を極力少なくする計画。 南面カーテンウォールは、熱線反射ガラスを採用。/ / カスケード排気による空調エネルギーの削減 / 空調中央監視設備による運転状況の監視及び効率的運用。/ エコマーク、グリーン調達品の内装仕上材の使用。/ 設備システムの効率化、効率的運用による地球温暖化への配慮。	設計の計画上特段に配慮した事項 敷地面積の5%以上の緑化。/ 十分な駐車台数の確保。	設計の計画上特段に配慮した事項 空間の自由度の確保。/ 躯体を痛めない設備の更新性の確保。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される